

和名	分類	特徴ほか	会える場所			
			ハイム	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他
ツバメシジミ	シジミチョウ科	羽裏のワンポイント	○	◎	○	全国



多摩川土手 中野島 4月下旬



生田緑地 6月上旬♂ 光沢はヤマトシジミより強い



多摩川土手 中野島 4月下旬 ハコベで吸蜜。メスは濃灰色が多いが時折、青い鱗粉が散った個体も混じる



多摩川土手 中野島 6月中旬 アカツメクサで吸蜜

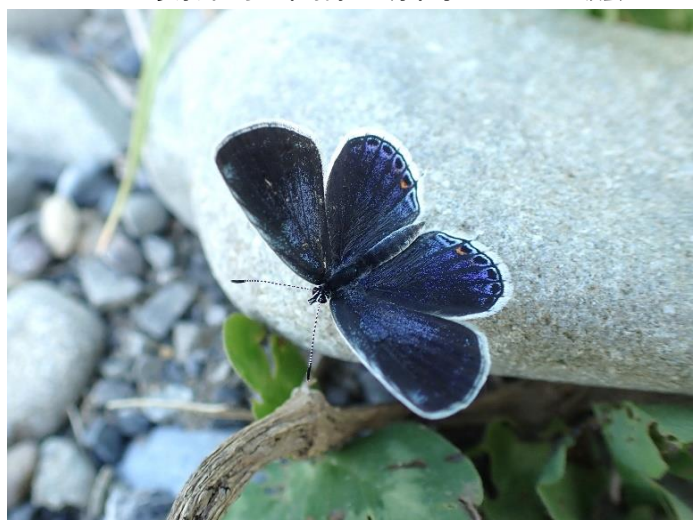


成虫発生時期（月）											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
○ 食草			食樹			発生回数/年		越冬形態			
シロツメクサ、コマツナギほか						4~6		幼虫			

ベニシジミに前後して早春に出てくる可憐なシジミチョウで、オスの羽の表は光沢のある紫青色であるのに対し、メスは濃灰色ですが時折写真のように青い鱗粉が散った個体が混じります。尾（尾錠突起）を持つ蝶は多いのですがツバメの称号が与えられている数少ない蝶の一つです（ハイム内に生息している「ムラサキツバメ」というシジミチョウもこの例です）。ハイム内でも、大きさも色もよく似たヤマトシジミに混じって飛んでいる姿が観察できます。



多摩川土手 中野島 4月下旬 アブラナで吸蜜



多摩川土手 稲田堤 4月上旬♀ 青藍の鱗粉が目立つ個体